

ご相談料金

基本相談(対面)

1 時間 11,000 円

※延長料金: 1 時間経過後、15 分ごとに +2,750 円

例) 1 時間 30 分まで 基本料金 11,000 円 + 2,750 円 × 2
= 16,500 円

上限 33,000 円 (3 時間)

※ 難易度により別途お見積りとなる場合があります。

※ 事前準備代を頂く場合がございます。(3,000 円程度)

統計調査、資産形成アドバイスとも上記のご料金が基本となります。

お支払いは、現金でお願いいたします。

初回相談までの流れ

当事務所を初めてご利用される場合の流れとなります。

[お問い合わせ]

まずホームページ上の「お問い合わせ（入力・送信フォーム）」よりメールにてお問い合わせください。お電話でも結構です。お気軽にお問い合わせください。

[面談日の調整]

お問い合わせいただいた内容を確認し、お引き受け可能かどうかを判断いたします。お客様の希望日時と当事務所の予定を調整し、面談日を決定いたします。

[面談当日]

いよいよ面談です。ご指定の場所にお伺いさせていただきます。親身に対応しますので、どうぞご安心ください。

お問い合わせ・お申し込みは、メール（お問い合わせフォーム）またはお電話にて受け付けております。留守番電話になった場合は、お名前とご連絡先をお伝え下さい。折り返しご連絡いたします。

受付時間： 9:00～17:00

定休日： 日曜・祝日

メール： masatoshi.fujii.pss@gmail.com

電話： 090-8002-3367

ご相談内容メニュー

< 家計全般相談 >

家計全般のご相談を承ります。家計収支、住宅ローンや教育費の負担など、家計全般に関するご相談をお受けします。

先の見えない不安、数値化できない不安を取り除き、より良い家計作りに向けたアドバイスをいたします。

- ライフプランニング
- 家計診断
- 家計の見直し

家計の改善は大きく二つ、収入を増やすか、支出を減らすかのどちらかです。夫婦で働くなど収入を増やすことが出来れば望ましいですが、難しい場合は支出を抑えることで**家計の健全化**を図ります。

支出には大きく**変動費**と**固定費**があります。

- 変動費 ～ 食費、日用品費など日々の生活費。毎月変動します。
- 固定費 ～ 住宅ローン、保険料など。毎月一定額掛かります。

このうちまずは**固定費を見直す**ことをお勧めします。固定費は、一度見直せばその後は手間がかからず効果が続くため、ストレスもありません。節減効果も変動費よりもはるかに大きい場合が多いです。

ただし、単純に削減すればよいわけではありません。本当に必要な部分は残していかなければなりません。内容によっては他の支出に影響する場合があります。家計全体トータルで見極める必要があります。

当事務所ではお客様と一緒に考えながら、的確なアドバイスをご提供していきます。

< 住宅購入相談 >

マイホームの購入は一般的に人生最大の買い物です。多くの方が住宅ローンを組みますが、借入額や組み方次第で今後のライフプランに大きな影響を与えます。

夢のマイホームが幸せな家庭生活を圧迫するようでは本末転倒です。ローンを返せない場合、マイホームを手放すことにもなりかねません。「借りたい額より、無理なく返せる額」、これがローンを組む上での基本です。

その範囲内でご自身の満足感が達成できる限度を模索していくのです。当事務所では家計全体を見渡しながら、お客様の適正額を一緒に考えていきます。

【マイホーム購入は買うタイミングや、建築場所(立地)も重要】

タイミングは様々ですが、家族構成が固まってからがひとつの目安です。

末子誕生後、家族の人数が確定したあとのプランであれば、間取りや部屋数もほぼ確定します。

立地に関しては、通勤通学、実家等、生活で大切なことを基軸に考えます。防災上の観点からは、地盤のしっかりした土地を選ぶことが重要です。一緒に考えながら、お客様の立場にたった的確なご提案をしていきます。

< 教育資金相談 >

1. 子供の教育資金

子供の教育費は、文部科学省統計によると幼稚園から大学まですべて公立だったとしても一人 878 万円以上かかります。小学校から高校まで私立で大学も私立文系の場合、一人 2,312 万円程度かかります。

近年、中学受験をするお子さんも増えていますが、そのための大手進学塾に通った場合は、さらに多くの額を見込まなくてはなりません。親御さんからすれば、子どものためにより教育を受けさせてあげたい反面、家計においては頭の痛いところです。まずは進学プランをイメージし、いくら位かかるのかを把握することが第一歩です。そして早い段階からコツコツ積み立てることが肝心です。

2. 教育資金の貯め方

教育資金の貯め方は、積立定期預金や定期積金といった毎月定額をコツコツ貯めるのが基本です。

< 保険の見直し相談 >

1. 生命保険の見直し

家計における生命保険料平均は年間 38.4 万円(月 3.2 万円)です。決して少なくない額です。仮に月手取り収入 40 万円の場合、実に 8%となる計算です。万が一のリスクヘッジのはずが、日常生活を圧迫しては本末転倒です。

日本の公的社会制度はしっかりしており、万一の場合も遺族年金でかなりの部分まかなえます。その他、死亡退職金、預貯金、妻の就労等もあり、民間生命保険で用意しなければいけない額はそれでも足りない額のみでいいはずですが、必要保障額と言いますが、それをご一緒に考えていきます。

保険加入はある一定期間のリスクに対する安心感(サービス)を買う行為です。掛け捨てが基本です。無理に保険に貯蓄機能を追うことは禁物です。

2. 医療保険の見直し

医療保険やがん保険は近年商品数が飛躍的に増え、今や死亡保険をしのぐ契約数になっています。保険料も比較的安いためついつい多めに加入しがちです。日本の公的医療制度はしっかりしており、自己負担割合の3割負担で済むうえ、ある一定額(一般的に月約9万円)を超えると高額療養費制度から支給してもらえます。

3. 損害保険について

損害保険は該当される方は必ず加入しておきましょう。家を買ったら火災保険や地震保険、車を買ったら自動車保険(自賠責+任意保険)です。これらは公的な保険制度はなく、自助努力で加入しなければなりません。

逆に加入していないと事故の場合は、とても自分の財布では賄い切れない額となり家計に大きな負担を与えます。

< 相続の心構え相談 >

相続は、多くの方にとって一生に2度程度しかない稀有なものです。しかしそのインパクトは極めて大きく、その後の人生に大きな影響を与えるものにもなります。これは税金対策などお金の問題だけではなく、心の在り様や人生観そのものの問題でもあるからです。ぜひ相続の本質を見極め、その後の人生においても充実した満足できる方向性をつかんでもらいたいと思い、ご相談に応じます。

やはりその時に大事なものは、その財産はどのように形成され、どこに帰属すべきかを俯瞰的に考える力です。自分自身だけでなく家族や兄弟が皆幸せで、今後も発展していける道を模索するのが何よりも大切なのです。

心構えを中心とした相談にはなりますが、お客様のお話をじっくりお聞きすることで、お客様自身が方向性を導き出していただけるといったような場をご提供していきます。

< 統計調査相談 >

統計調査にも対応いたします。アンケート調査など、全体像を把握するためにどのようにしたらよいのか、アドバイスいたします。

以上